

(14) 「人間力」について

- 「人間力」は、平成 14 年 5 月 13 日の経済財政諮問会議における民間議員の提出資料「経済活性化戦略中間整理とりまとめに当たって」において、経済を活性化するための 6 つの戦略として、「技術力、人間力、経営力、産業発掘、地域力、グローバル化」の中で示された。

(参考) 経済財政諮問会議での吉川洋民間議員（東京大学教授）の発言
「技術にしても、あるいはそれをニーズに結び付けるにしても、元にあるのは人間。「骨太の方針」以来、広い意味での知恵、あるいは人間というのが結局は経済の一番底にあるものだということを言っている。ここではそれを「人間力戦略」という形で表現し、大学の改革、新分野の人材育成倍増、ITの国民皆教育などが特に重要だということ述べている。」

- 平成 14 年 6 月に閣議決定された「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002（基本方針 2002）」以降の基本方針において、人間力強化のための対策が挙げられている。

(参考)

- ・ 平成 14 年 6 月の「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2002（基本方針 2002）」の中で、経済活性化戦略の 6 つの戦略の中に「人間力戦略」が盛り込まれている。
- ・ 平成 15 年 6 月の「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2003（基本方針 2003）」の中で、7 つの改革の柱の一つとして「雇用・人間力の強化」が盛り込まれている。
- ・ 平成 16 年 6 月の「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2004（基本方針 2004）」の中で、主な改革の一つとして「雇用・人間力の抜本的強化」が盛り込まれている。
- ・ 平成 17 年 6 月の「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2005（基本方針 2005）」の中で、新しい躍動の時代を実現するための取組として、「人間力の強化」が盛り込まれている。

- また、経済財政諮問会議の発案により、「人間力」という用語を軸として、様々な面から現状分析や政策提言を行うことを目的として、平成 14 年 11 月に内閣府を事務局として人間力戦略研究会が開催され、その報告書が平成 15 年 4 月にまとめられ

たが、そこでは、「人間力」を以下のとおり整理している。

『 人間力に関する確立された定義は必ずしも無いが、本報告では、「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」と定義したい。

具体的には、構成要素に着目すれば、

- ・ 知的能力的要素
- ・ 社会対人関係力的要素
- ・ 自己制御的要素

があげられ、またそれを発揮する活動に着目すれば、

- ・ 職業人としての活動に関わる「職業生活面」
- ・ 社会参加する市民としての活動に関わる「市民生活面」
- ・ 自らの知識・教養を高め、文化的活動を高める「文化生活面」

に分類される。』